

農村計画学会 論文・報告原稿作成要領(種別A)

編集委員会

以下の原稿作成要領を厳守すること。下記の要領から大きく逸脱した論文の受理は認められない。

I 基本設定

- ①用紙:A4用紙を用いること。
- ②紙の置き方:縦置き
- ③文字方向:横書き
- ④1行の文字数:25文字×2段組
- ⑤1ページの行数:46行
- ⑥印刷フォント:MS明朝あるいはJS明朝体を用いること。(英文はTimes New Roman)
- ⑦マージン設定:

上端:30ミリ

下端:20ミリ

左端:20ミリ

右端:20ミリ

(注:マージンを上記の通り設定しても、文字が溢れて下端の20mmが確保できていない場合があります。そのようなことがないよう、注意して下さい。)

- ⑧査読用の原稿なので、著者名を伏せるとともに、著者名が推定できるような引用表記等は避けること。また、行番号を付けること(paper form(sample-j)には行番号が付いています)。

II 構成

1 論文の構成

第1行:行空け

第2行:「論文名(16ポイント)」を行中央に配置する。1行に収まらない場合は、適切な箇所ですべて区切って2行にする。2行目も中央に配置すること。論文名は、できるだけ簡潔にすること。なお、副題がある場合は10.5ポイントで記載すること。

第3行:「英文タイトル(9ポイント)」を行中央に配置すること。英文タイトル副題の文字の大きさは8ポイントとする。各単語の頭は大文字にすること。ただし前置詞などは大文字にしない。

第4行:行空け

第5行:行空け

第6行:行空け

(論文名は、英文を含めて第6行目までに収まるようにすること。)

(論文名が長い場合は、第4行~第6行の行空け(空白)を若干変更することも可。)

第7行:「氏名(9ポイント)*」(連名者を含む)を行中央に配置すること。

第8行:「英文氏名(9ポイント)*」(連名者を含む)を行中央に配置すること。

氏名、所属ともに複数の場合、半角アスタリスク(*, **, ***)をつけて氏名と所属の対応関係を明らかにすること。アスタリスクは、氏名の場合は後に、所属の場合は前につけること。

第9行:「所属(9ポイント)」(連名者を含む)を括弧で括り行中央に配置すること。

第10行:「英文所属(8ポイント)」(連名者を含む)を括弧で括り行中央に配置すること。

(投稿時は、第7行目～第10行目までを「行空け」にすること。)

第11行:行空け

第12行:行空け

第13行:本行から本文が始まる。なお、本文は、2段組(25文字)とすること。

最初の見出しは、13行目に10.5ポイントで、「ローマ数字で I」+「1文字空け」+「見出し」という形式で記載すること。但し、見出しが1行に収まらない場合は2行目に記載する。2行目の記載は、2文字を空けた後に10.5ポイントで始めること。見出しは、簡潔なものが望ましい。

第14行:行空け

第15行:本文を9ポイントで記載すること。なお、新たな見出し(Ⅱ, Ⅲ～)が登場する度に、第13～15行に関わる作業を繰り返すこと。なお、小見出しは1, 2, …とする。

2 句読点, 読点

句読点は「,」、読点は「。」を使用すること。

3 図表

①図表(写真を含む)には、印刷がモノクロ写真製版によることを前提に、鮮明なものを用いること。図の濃淡、グラデーションの差は、明確に判別できるよう大きくすること。

②図表ナンバーはそれぞれ「表1」、「図1」とすること。図表のナンバーとタイトルは日本語は9ポイントの強調文字(センタリング)、英語は8ポイント(センタリング)とすること。ナンバー及びタイトルは、表の場合は上、図の場合は下に配置すること。図表に対する注釈は、8ポイントで挿入すること。

③表の一番上の罫線は二重線とし、左右の表側部分は罫線を引かないこと。図表中の文字は7ポイント以上とすること。

4 注釈

注釈が必要な箇所には、注1)、注2)、……を本文該当箇所右肩に上付で明示すること(注番号は全角数字を使用;ただし注番号が2ケタになる場合には半角数字を使用)。注釈の内容は本文と引用文献の間に9ポイントでまとめること。なお、注釈の内容が2行にわたる場合、2行目は、先頭に3文字分の空欄を挿入してから始めること。

5 引用文献及びウェブサイト

文献及びウェブサイトを本文中で引用する際は、1)、2)、…n)の記号で本文該当箇所右肩に上付で明示すること(文献番号は全角数字を使用;ただし文献番号が2ケタになる場合には半角数字を使用)。引用した文献・ウェブサイトは、本文の末尾に、9ポイントで引用順に一括掲載すること。文献・ウェブサイトの記載形式は、以下の通りである。

1)論文:著者(出版年(西暦)):論文名.学会誌等名,(巻)号,該当ページ(○-○)

例:農村太郎・計画花子(2002):農村計画に関する新しい理論の展開—既存の計画手法を振り返って.農村計画学会誌,21(6),150-159.

2)著書:著者(出版年(西暦)):『書名』,出版社名,出版社の所在地(例:東京).

例:農村太郎(2000):『農村計画学』.〇〇出版,東京.

3)編著書:著者(出版年(西暦)):題名(編者名,『書名』).出版社名,出版社の所在地(例:東京),該当ページ(pp.○-○).

例:計画花子(2001):都市近郊における計画理念(農村太郎編,『都市農村計画学』)××書店,東京,pp.115-130.

4)英論文:著者(出版年(西暦)):論文名.学会誌等名(斜字体),(巻)号,該当ページ(○-○)

例:Noson,T.and Keikaku,H.(2000):A new strategy of Japanese rural planning-towards re-vitalizing rural economy. Journal of Rural Planning,5(3),121-130.

.....

10)英編著:著者(出版年(西暦)):題名:In編者名(eds),書名(斜字体),出版社名,所在地(例:Tokyo),該当ページ(pp.○-○)

例:Keikaku,H.(2002):Land-use changes in rural area:InNoson,T and Keikaku,H.(eds.),Sustainable Rural Development,Norin Press,Tokyo,pp.61-85.

11)ウェブサイト:著者:該当ページの題名,ウェブサイト名,<URL>,更新日時,参照日時.

例:農村太郎:都市近郊における計画理念,農村計画学会,
<<http://rural-planning.jp/index.htm>>,2005年2月20日,2005年4月11日

6 英文サマリー

論文最末尾に6~8行程度を確保して,1段組で配置する。9ポイントでSummaryと書き,100語程度で記載する。

2段組み本文の最後と1段組み英文サマリーとの間に,細い横線(点線)を入れる。

英文サマリーの下に,キーワード(5語以内)を記載する。

※論文原稿作成にあたっては,「具体的な論文作成見本」も参照のこと。

以上

タイトル (16 ポイント, MS 明朝, 強調文字)

副題 (10.5 ポイント, MS 明朝, 強調文字)

Title (9 ポイント, Times New Roman, 強調文字)

Subtitle (8 ポイント, Times New Roman, 強調文字)

氏名 1 (9 ポイント, MS 明朝) * 氏名 2 **

Name1 (9 ポイント, Times New Roman) * Name 2 **

(*所属 1 (9 ポイント, MS 明朝) **所属 2)

(*Organization 1 (8 ポイント, Times New Roman) **Organization 2)

投稿時は、
行空け (空白)
のこと

I 研究・・・ (10.5 ポイント, MS 明朝)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

5 (本文: 9 ポイント, MS 明朝)

.....

.....

○○○○○○○○○○○○○○¹⁾ ← 文献番号

35

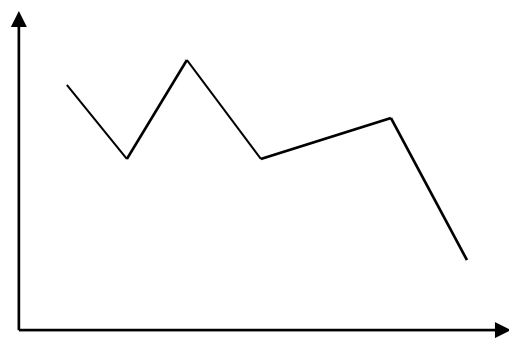


図 1 ○○ (9 ポイント, MS 明朝, 強調文字)

Fig.1 The trend of ... (8 ポイント, Times New Roman)

注: 1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○ (MS 明朝, 8 ポイント)。

II 分析・・・ (10.5 ポイント, MS 明朝)

1 地域の・・・ (9 ポイント, ゴシック)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○^{注1)}○○○○○○○○○○○○

15

注番号

45

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表 1 ○○の概要 (9 ポイント, MS 明朝, 強調文字)

Table 1 The outline of ... (8 ポイント Times New Roman)

注: 1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○ (8 ポイント, MS 明朝)。

図表とその前後の本文との間には、
空白行を 1 行設ける。

60 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

5
10
15
20
25
30

○○ 35

○○

5

40

10

45

9 ポイント (ゴシック・センタリング)
本文の最後の行との間は、空白行を1行設ける。

9 ポイント 文章が複数行に及ぶ際には、2行目以降の書き出し場所に注意。

9 ポイント (ゴシック・センタリング)
注の最後の行との間は、空白行を1行設ける。

9 ポイント

9 ポイント (Times New Roman)
英文サマリーは100語程度

15

50

20

55

25

60

30

65

注

注 1) ○○○
○○○○○○○○○○○○○○○。

注 10) ○○○
○○○○○○○○○○○○○○○。

引用文献

1) 農村一郎・計画春子 (2008) : 農村計画の・・・に関する考察, 農村計画学会誌, 27(2), 115-122.

2) 農村二郎・計画夏子 (2009) : 農村計画の・・・に関する分析—農村地域の・・・を対象として—, 農村計画学会誌, 28(論文特集号), 125-130.

3) Noson, T. and Keikaku, H. (2010) : A new strategy of rural planning - towards revitalizing rural economy. Journal of Rural Planning, 5(3), 21-30.

.....

10) 農村三郎・計画秋子 (1995) : 現代の農村計画のあり方 (農村太郎編著, 『新時代の農村計画論』). ○○出版, 東京, pp. 165-182.

11) 農村四郎 (2003) : 農村地域の現状と課題. ○○書房, 大阪.

Summary : This study is

.....

.....

.....

..... is important.

キーワード (Keywords) : 農村計画 (Rural planning),

....., 農村調査 (Rural survey)

キーワードの最終行と日付記載行との間は空白行を1行設ける。

9 ポイント 日本語 : MS明朝, アルファベット : Times New Roman
キーワードは5つ以内とする。

(2013年*月*日 原稿受理)
(2013年*月*日 採用決定)